

長浜バイオ大学 保護者の皆様方へ

京都高齢者大学校



2020年度「そうだったのか!! バイオの世界」講座のご案内

長浜バイオ大学 学長 蔡 晃植（兼 京都高齢者大学校 校長）

本学を運営する学校法人関西文理総合学園は、2013年より本学京都キャンパスにて、社会貢献教育事業としての京都高齢者大学校を開講しております。この学校は、高齢者の方に限らず、どなたでも受講していただける年齢も地域も制限なしの大学校で、長い人生における教養の向上、仲間づくり、生きがいの創造、より良い生活設計や社会参加の為に必要な知識の習得を目標にしています。2020年度で大学校は8年目を迎えます。前年度にあたる今年も約600名の受講者(京都校のみ)を迎え過去最高となりました。又、「バイオの世界」講座も同じ8年目ですが、こちらも年々増加で開講前に締切ました。「興味深い内容でわかりやすく面白い」と好評です。次年度も計22講座の楽しい講座を用意しました。その内の一つが「バイオの世界」(月1回(8.1月除く)、全10回)です。この講座は、主に本学の教員が講師を担当し、様々な側面からバイオの世界に興味深く、わかりやすく紹介をするものです。長浜バイオ大学の保護者の皆様にも、お子様が学ぶバイオの世界の一端に触れていただき、興味深い内容と本学の教員を知っていただき、お子さんと話題を共有する機会にもなればと考え、この講座を案内しています。受講された方には毎年、大好評です…HPの一言感想参照。保護者の方は、この講座の受講料は無料です。受講を希望される方は、下記申込書に記入の上、FAXもしくはメールにてお申し込みください。受講は1回だけでも飛び飛びでも可能です。

★バイオ講座受講申込期間：2020年 1月20日(月)～2月7日(金) <期間厳守>

※なお会場は、京都府立病院前の長浜バイオ大学京都キャンパス河原町学舎で実施します。
(市バス：京都府立医大前下車徒歩2分/地図は京都高齢者大学校HPをご覧ください。)

(お問い合わせ先) 京都高齢者大学校 事務局 「バイオの世界」講座 担当:鈴木信夫
TEL:080-5323-8202 FAX:075-222-2072 Mail:n_suzuki@nagahama-i-bio.ac.jp

「そうだったのか!!バイオの世界」受講申込書 **FAX: 075-222-2072** ○を(継続・新規)

フリガナ 保護者様氏名① (オ) フリガナ 保護者様氏名② (オ) 計 () 名参加

連絡先(電話:) FAX:) 学生氏名 () 年次

受講する回に○を付けてください。▶▶ 2020年度 ①4/17 () ②5/15 () ③6/19 ()
④7/17 () ⑤9/18 () ⑥10/16 () ⑦11/20 () ⑧12/18 () ⑨2/19 () ⑩3/19 ()

住所 [〒 -]

目的とねらい

生命現象に絡んだ話は全てバイオの世界。最先端バイオ研究から身近な話まで、バイオにまつわる様々な分野の興味深い、未知の科学の世界（医薬品・生命現象・食品・健康・環境・放射線・人工知能と先端バイオ研究等）へ…誰にでもわかるように案内します。バイオ実験体験や講師と気楽に語り合えるバイオカフェ、受講者同士の交流を促進するスーパーカフェも加え、バイオを学ぶ楽しさを更にアップします。保護者の方には、バイオの知識・バイオ大学の先生を知って頂くいい機会です。

会場

河原町学舎

定員

50名（保護者含む）

受講料

保護者は無料（この講座のみ）

責任講師

大島 淳（長浜バイオ大学 教授）

日程

第3金曜日 <8月・1月は休講>

講義終了後：自由参加で講師と談話「バイオカフェ」…①⑥はスーパーバイオカフェ（懇親会等）

講義13:30～15:30 終了後は⇒■バイオカフェ16:10迄■スーパーバイオカフェ①⑥17:00迄

（日程等は一部変更になる場合があります）



①	バイオって何？ ～2020年度は、バイオダイジェストで幕開け～ 大島 淳（長浜バイオ大学 教授） 多彩な内容の年間テーマを理解しやすくするための予告(予習)編。iPS細胞やゲノム編集など言葉の解説も。	4/17（金）
②	日本のバイオ研究がノーベル賞を取った理由 ～医薬開発へのインパクトと次世代医療～ 長谷川 慎（長浜バイオ大学 教授） 医薬開発の分野で日本のバイオ研究がノーベル賞を取った理由について考えてみましょう。	5/15（金）
③	ウイルスと闘う 井上 寛一（滋賀医科大学微生物感染症部門 非常勤講師） エボラ、エイズ、インフルエンザなどウイルスによって引き起こされる感染症の脅威について話します。	6/19（金）
④	養殖ビワマスを美味しくする飼料の開発 河内 浩行（長浜バイオ大学 准教授） 食品残渣や廃棄物を利用し飼料として与えることで、脂の乗った美味しいビワマスを育てるお話です。	7/17（金）
⑤	楽しい実験体験：青葉（緑葉）を調べる！ 黒田 智（長浜バイオ大学 アドミッションオフィス 主任） 葉っぱはどのようにして緑色？今回は葉っぱに含まれる色をクロマトグラフィーともう一つの性質から調べます。	9/18（金）
⑥	遺伝子診断(検査)～よもやま話～ 大島 淳（長浜バイオ大学 教授） 最近の遺伝子診断(検査)技術について概説とその功罪についてお話します。	10/16（金）
⑦	サイエンスイノベーションは我々の生活をどのように変えるか。 蔡 晃植（長浜バイオ大学 学長 京都高齢者大学校 校長） ゲノム編集や人工知能などによるサイエンスイノベーションをよく知り、変化する社会を楽しみましょう。	11/20（金）
⑧	笑い健康を科学する ～こころとからだを癒す笑いの効果～ 大平 哲也（福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授） 笑いの力はスゴイ！最新のデーターによる医学的効果の報告や日常生活で笑いを増やす方法などお話します。	12/18（金）
⑨	デメキンの眼はどうして飛び出ているのか？～金魚の遺伝子と進化について～ 大森 義裕（長浜バイオ大学 教授） 金魚には様々な色や形のものがありますが、その原因を遺伝子レベルで調べ、ゲノム科学の視点から考えます。	2/19（金）
⑩	放射線はジキルかハイドか？ 中島 裕夫（大阪大学 放射線科学基盤機構 医学系研究科未来医療イメージングセンター 講師） 放射線には発がん作用と抗がん作用の両方があります。このもろ刃の剣はどちらが本当の顔なのでしょう。	3/19（金）